

オンライン授業実践報告

—村上 仁—

UOWカレッジ香港/ 香港城市大學專上學院

香港日本語研究会

「オンライン授業の現在」2020年5月2日

1

1. はじめに

■ UOWカレッジ香港について

- 2年制の副学士課程（香港城市大学のプラットフォーム：Canvas）
- 4年制の学士課程（ウーロンゴン大学のプラットフォーム：Moodle）
- 両方において主に日本語文法科目と文化関連科目を担当

2

2. オンライン授業への移行

- 後期授業が1月に始まり、旧正月までの2週間ほどは通常授業
- 旧正月休み（1週間）に入ったところで新型コロナウイルスが香港でも拡散し始める。



1週間の休暇期間延長とその後のリアルタイムオンライン授業の導入が大学により決定

3

2. オンライン授業への移行

- 休暇中は教員のオンライン授業開始のための準備期間とされる
 - ワークショップ開催など
 - Canvasを使う課程では当初Conferencesという会議ソフトの使用が推奨される（すぐ後でZoomが導入される）
 - Moodleを使う課程ではWebexが推奨される

4

2. オンライン授業への移行

- Conferencesが音声面で安定していなかったため日本語教員間の話し合いで日本語科目ではWebexを用いることを決定
- 学期の第3週目から完全にオンライン授業へ

5

3. 担当するコースでのオンライン授業

- 現在全科目で2時間のレクチャーと1時間のチュートリアルという組み合わせ
 - レクチャーでは通常教科書を用いた文型導入・練習、チュートリアルではその課の復習やミニテストなど
- オンラインモードでもレクチャーに関しては通常授業同様にパワーポイントやワードをレクチャー資料として使いながら授業

6

3. 担当するコースでのオンライン授業

- チュートリアルに関しては当初授業で使うワークシートをCanvasにアップロードし、別に模範解答も載せ自主学习させる
- オンライン授業が長引くことが予想されたため、3週目からリアルタイム授業を開始

7

4. 評価について

- 通常はコースワークと試験の組み合わせ
 - 今学期は試験の中止が決定
 - コースワークのみでの成績に変更
 - テスト類の評価方法変更
 - 単語テスト
 - 中間テスト
 - 宿題提出に関してもオンライン

8

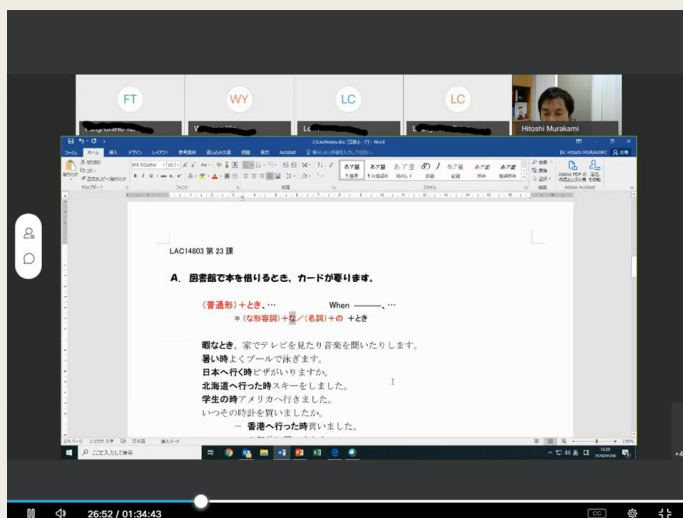
5. 授業の様子

- 授業配信は自宅からでもオフィス、教室からでも可能
- 学生にはフルネームで入室するように指示
- 学生のマイク、ビデオは基本的にはオフ
- 質問等はチャット機能を利用させる
- チュートリアルではたびたび学生を指名しマイクで答えさせる

9

5. 授業の様子

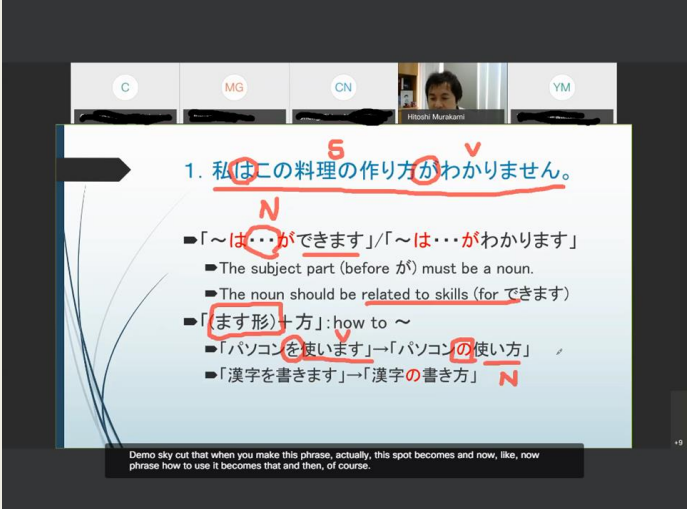
- レクチャー資料（学生には授業前にアップロード済み）を共有スクリーンで説明



10

5. 授業の様子

- アノテーション
(書き込み機能)
の利用



The screenshot shows a Zoom meeting interface with a slide. At the top, there are five participant icons labeled C, MG, CN, Hitoshi Murakami, and YM. The slide content is as follows:

1. 私はこの料理の作り方がわかりません。

Annotations on the slide: A red circle around '私' is labeled 'S'. A red circle around 'の' is labeled 'N'. A red circle around 'が' is labeled 'V'. A red circle around '作り' is labeled 'N'. A red circle around '方' is labeled 'V'. A red circle around 'の' is labeled 'N'. A red circle around '使' is labeled 'V'. A red circle around '方' is labeled 'N'.


- 「～は・・・ができます」/「～は・・・がわかります」
 - The subject part (before が) must be a noun.
 - The noun should be related to skills (for できます)
- 「ます形」+方]: how to ~
 - 「パソコンを使います」→「パソコンの使い方」
 - 「漢字を書きます」→「漢字の書き方」

Demo sky cut that when you make this phrase, actually, this spot becomes and now, like, now phrase how to use it becomes that and then, of course.

11

5. 授業の様子

- ホワイトボード
の映写



The screenshot shows a Zoom meeting interface with a whiteboard. At the top, there are five participant icons labeled S, H, CT, W, and HJ. The whiteboard content is as follows:

敬語

尊敬

尊敬語

お～になる

～です/します

Annotations on the whiteboard: A red circle around '尊敬' is labeled 'N'. A red circle around 'お～になる' is labeled 'V'. A red circle around '～です/します' is labeled 'N'.

Hitoshi Murakami

12

6. 授業以外での対応

- Canvas/Moodleのディスカッション機能を使い質問等を共有できるようにする
- レクチャーのビデオは常に録画し、技術的な問題で出席できなかった学生や復習したい学生に対応
- 宿題などの提出物に対しては、コメント欄を活用し可能な限りフィードバック

13

7. オンライン授業で感じること

- メリット
 - 科目にもよるが、通常授業と同様のことがリアルタイムにできる
 - チャット機能で学生がより積極的に
 - レクチャーなどでの出席率向上
 - 録画機能を活用することで進度の遅い学生にも対応できる

14

7. オンライン授業で感じること

■ デメリット

- 学生のモチベーション維持が難しい
- 技術的問題が起きる可能性
- 学生の反応がわかりにくい
- 会話練習の機会減少
- 評価の内容、方法

15

8. 終わりに

- 不便を感じることも多いが、いい機会と捉え今後
に活かすことが必要
- 学生にもアンケート形式で意識調査を行いたい

16

ありがとうございました。